



## 地域社会の活性化を実現し、 100年続く 「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を 目指します。

代表取締役社長執行役員 平松正嗣

株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社グループの事業、経営に対するご理解を賜り、心よりお礼を申し上げます。

ここに、第66期報告書をお届けいたします。

国内小売業界におきましては、行動制限の解除により前期のような営業時間短縮や休業は発生しなかった一方で、供給面の不安や原材料価格の動向により、商品仕入価格や光熱費が高騰するなど、業界を取り巻く環境は非

常に厳しくなっています。

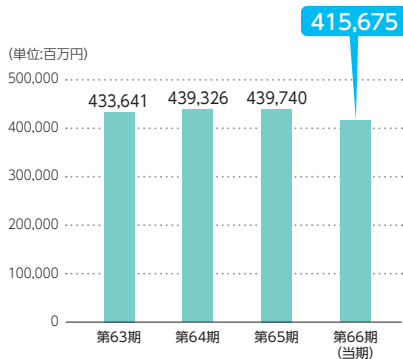
当社におきましては、食品の堅調な販売と前期の営業時間の短縮・休業の反動により、衣料品の販売は増加しましたが、光熱費の上昇や集客のための販売促進への投資を積極的に実施したことで、投資に伴う一時費用が増加しました。

以上の結果、当連結会計年度の営業収益は4,156億75百万円(前年同期4,397億40百万円)、営業利益は112億79百万円(前年同期153億62百万円)、経常利益

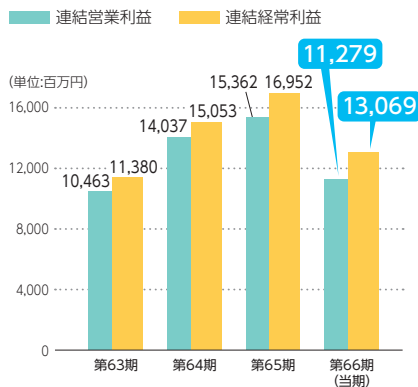
### 当社グループの営業成績等 (2023年2月20日現在)

(注)当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、前連結会計年度と収益の会計処理が異なります。

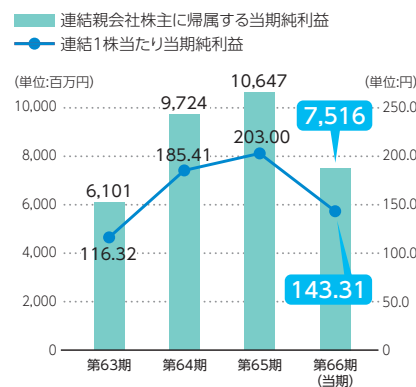
#### 連結営業収益



#### 連結営業利益／連結経常利益



#### 連結親会社株主に帰属する当期純利益／連結1株当たり当期純利益



# Top message

は130億69百万円(前年同期169億52百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は75億16百万円(前年同期106億47百万円)の結果となりました。

当社は「地域になくてはならない存在」の実現に向けて、「平和堂ならではの地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指し、「地域共創」を基本理念とし、行動基準としてのサステナビリティや事業基盤としてのDXを取り入れながら、「地域の健康(地域が活性化された状態の実現)」を土台に人材育成、筋肉質経営を中期経営計画として進

めています。プライベートブランド商品の展開強化や、商品の品質向上やサービス改善、地元の食材や商材とのコラボレーションなど、平和堂ブランドを総合的に高めていくとともに、魅力あるショッピングセンターづくりをおこなってまいります。

また、現代社会におけるコミュニティの減少、高齢者の孤立などが顕在化する中、当社が提供する場を「ライフライン」のみならず「サードプレイス」として日常的に人々が集まる場所となるような地域のコミュニティづくりをおこない、地域の活性化につなげてまいります。

環境の変化が激しい時代に対応し、様々な取組みを進めていくことが求められているからこそ、平和堂は、地域との結びつきを重視し、従業員とともに地域に貢献し続ける企業を目指してまいります。

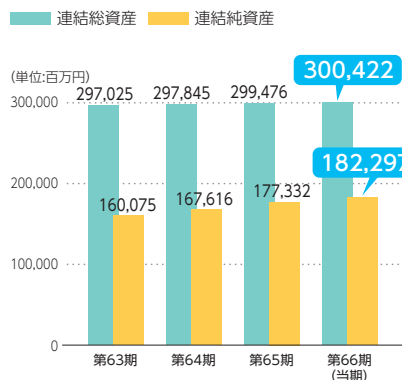
株主の皆さまには、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年5月



平和堂グループの中長期ビジョン

## 連結総資産／連結純資産



## 単体部門別売上高

